

主 宰 吟

村上 谿 聲

若水やまだほの暗き庭稻荷
一羽翔ちいつせいに翔ち初雀
バテレンの地の果てに遭ふ絵踏かな
展覧の作家の遺書や涅槃西風

無愛想な苗売りにして頼みあり
戦ある世を忘れゐて合歡の花
滾々と清水湧かせて珈琲館
雄心の益荒男立てと鴟高音
わが庵の神も発ちしか風騒ぐ
毛の国は風を旨とし冬構